

文 福山 佑輝 (du) 取材協力: truth planning

音楽ディレクターである筆者が、京都学生人口約30万人の中から「京都版モーニング娘。」を作り上げる事を目指した本企画。既に11号を連載し、関西圏では本コーナーにスカウトインクされる事が、デビューへの登竜門とされていると評判。



Entry. 0015

Vol.11 リサーチんぐ娘。

小笠原 友美

おがさわらともみ
1985.11.9生まれの17歳
身長154cm B80.W58.H79
カプリコを頻張りながらライブハウスへ行くのが一番至福を感じる時だそう。



筆者がプロデューサーを務める「gAre gAte records」所属バンドのライブ中に、スカウトしたメロコア大好き友美ちゃん。ライブ日は筆者も多忙を極め、後日レーベルオフィスにて取材を行う事となったのだが、爆音ライブハウスの中でライブも厭わない程、ブツ飛んでいたテンションとは打って変わって、割と無口なシャイっぷりに驚いた。私の職業を知ってほしいか、バンドを組みたいと語ったアピール度は彼女の瞳と同じくらい大きく輝いていた。

「京都版モー娘。」を作ろうと始めた本企画では、今まで200人強の「娘。」達をオーディションしてきたわけだが、真紀ちゃんは史上最強「モー娘。」っぽいのではないだろうか? 黒目の大きい妹系の彼女は、まさに世間のニーズそのものである。早速取材を作り、某トップフロントに売り込もうと盛り上がる筆者だった。



Entry. 0016

中村 真紀 なかむらまき
1986.6.15生まれの16歳 身長152cm B82.W61.H83
はずかしがりやとは言いつつも、よく行くお店は「吉牛」?



THAT'S
はやりもの
チェック

ケータイ無料サイトは数あれど、コンテンツの全てが無料で使えるサイトは「meiku」(http://www.meiku.jp/) だけ! 遊べるメニュー盛りだくさんです!

現在「リサーチんぐ娘」のHP制作中。HPでしか見られないPHOTO掲載。読者投票による特別企画も予定! 要チェック!



百万本のバラ
愛のくらし
加藤登紀子

百万本のバラ/加藤登紀子
ユニバーサルミュージック 971円 (税込)
「東京でデビューする前に、作曲家に弟子入りしてたことがあって、その時の課題曲。デビューが決まったのお別れ会で歌った時には、いろんな思い出も相まって、涙、涙…」と、歌手という仕事の出発点とも言える曲

あなとなら



大奈 Daina
あなたとなら/君の描く時へ
大奈
DAINA RECORDS 1050円 (税込)

大奈としてのデビューマキシシングル。作詞作曲はもちろん、プロデューサーもつとめた。大人と少女の間で揺れ動く心を表現したというこの一枚は、「ゼロからもう一度やるため故郷に戻ってきた」後の第一作

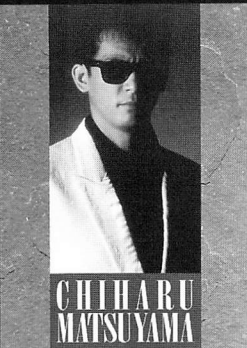


ジャヤジャヤサンガ/大奈
DAINA RECORDS 1260円 (税込)
自分の中の歌いたい気持ち、が出发点ではなく、パプルスガ後援会とサポーターと話す中で作ることになった一曲。これまでは少し違う原点だが、それは新しい自分を発見することになったターニングポイント的なものに

POWER PLAYSOUND

Music is moistened our life.
Tasteful album is here.
W'd like to find your recommended one.

転機点の曲達をもたらした 大奈らしい歌歌い、の今



CHIHARU MATSUYAMA
TABIDACHI
CHIHARU MATSUYAMA 10th MEMORIAL

旅立ち/松山千春
廃盤
音楽を聴いて初めて涙した曲。「中2の頃、好きな

男の子に『旅立ち』みたいやって言われて、初めて自分で買っていくって手に入れた。歌詞はもちろん、「音と音の間に味があって、あったかい感じがするアコースティックを基調としての音が好き」という原点の一曲



最新作「わからへん」もよろしく

大奈 (Daina) / シンガーソングライター

<http://www.daina21.com/>

'02シーズン・2ndステージからお目見えした、京都パプルスガの応援歌「ジャヤジャヤサンガ」。その作詞・作曲を手掛けると共に、唄っているのが大奈 (だいな) さん。宇治市出身の彼女ゆえ、サンガと同じく京都密着のスタンスで活動するシンガーソングライターだ。「これまでは歌手としてメジャーデビューしたり、役者をやったこともあったと言うが、やっぱり「自分の気持ちを、自分で歌いたい」との思いは最上級。自分が一番「らしく」いられる場所で、歌を作ること、歌うことを選んだ。それが地元に戻っての、シンガーソングライターとしての起点。「ジャヤジャヤサンガ」を作る前には、何度も何度もスタジオに足を運んで、サポーターの中に混じって応援したという、いわば「実体験主義」の彼女。振り返ってみれば、心動かされてきた曲達も、それぞれのアーティストがその気持ちを歌い上げたものばかり。なので「特にバラードとかだと、つい自分のことに置き換えちゃって」涙をこぼしてしまうこともあるとか。素顔を少し、垣間見せてくれる曲達だ。

ダブルローズミュージシャン



「女の子にしか解らない恋と自我」を歌っていきなさいと、メンバーは女の子バンド驚がりの人達に恵まれ、東京でのライブも経験して来た。「でも、あくまで京都中心で」とのこと

仕事場は三条の某有名喫茶店。ノーマイクと二日酔いで面接に望んだという大胆な彼女だが、「喫茶店にまつわる思い出」を熱く語り、その場で即採用となった。らしい…。でも、当然今は接客のプロとして奮闘中。



気まぐれ☆ハニー info

■ライブ 5/8西院ウーララ
■URL: <http://www.h4.dion.ne.jp/~kimagure/>
e-mail: maya-mail@h3.dion.ne.jp

「現実」の二文字から二足の草鞋 (ダブル・ローズ) を天秤の皿の上で置かざるをえない音楽人。夢と生業を計りにかけつつフルタイムで稼ぎ、音楽をこよなく愛する巨星、それが「ダブルローズミュージシャン」。

気まぐれ☆ハニーの Vol.03 藤井麻耶

幼少の頃大好きだったお婆ちゃんに連れられて通った喫茶店。「珈琲は苦くて飲めなかったけれど、フワッと鼻を抜ける香りが心地よかった。そこでバックに流れていた歌謡曲を帰りに道に歌ったことが、藤井さんの脳裏に焼き付いた「昭和」の思い出。そんな音楽好きが高じて始めたバンドもサウンドこそロックだが、歌謡曲メロディーと絡み合い、ノスタルジックなテイストはいつも側に、苦味もわかる年頃になった彼女が、現在働くのは喫茶店。「よかったですよ、愛着と思い出が詰まっているから、カフェより」。だが、時代錯誤ではない。そう、彼女にとっての「昭和」は流行り廃りに左右されない、愛すべきスタンダード。

元を辿っても行き当たる「昭和」の二文字